



平日に子どもと過ごす時間を作るのは至難の業

パパが平日に子どもと過ごす時間は「1時間未満」が最も多く、38.2%だった。「ほとんどない」を合わせて7割のパパが、平日にはほとんど子どもと過ごす時間をとれていない。

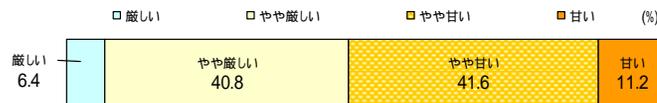
グラフ 平日、子どもと何時間くらい過ごしていますか？ (パパ自身による回答) (全体N = 267)



子どもには「やや甘い」パパが多い 叱るときは冷静に

パパ自身の子どもへの接し方として「厳しい」～「甘い」で聞いたところ、「やや甘い(41.6%)」が最も多く、「やや厳しい(40.8%)」をわずかながら上回った。厳しい派と甘い派はほぼ半々となったが、どちらかという甘いパパの方が多いという結果となった。

グラフ 子どもへの厳しさ(パパ自身による回答) (全体N = 267)



子どもを叱るときは工夫点では「叱られた理由を説明する・納得させる」が最も多い。次いで「感情的にならない」「怒った後のフォローをする」が続く。園児がまだ幼いとはいえ、頭ごなしに叱るのではなく、冷静に子どもにも納得させるように心がけているパパが多い。

グラフ 子どもをしかりるとき、どんな工夫をしていますか？ (パパ自身によるフリーアンサーからカウント)

1	しかられた理由を説明する・納得させる	69件
2	感情的にならない	33件
3	怒った後のフォローをする	28件
4	目をしっかり見る	25件
5	夫婦一緒にしからない	20件
6	ダラダラしからない・メリハリをつける	14件
7	分かりやすい言葉・言葉遣い・大声を出さない	12件
8	手を上げない	11件
8	子どもの話を聞くこと・頭ごなしに怒らない	11件
10	しかりときはしっかりしかる	8件
11	しかり内容に一貫性を持たせる	5件
12	平等にしかり(兄弟と)	3件
13	その場でしかる	2件
13	相手の立場になって考えさせる	2件
13	妻にまかせている	2件
	その他	19件
	特になし	37件

ママはパパの大事な情報源。友人や同僚も心強いアドバイザー

パパの子育てに関する情報収集源は「妻(80.1%)」と圧倒的に多い。次いで「友人・同僚」が48.3%、「テレビ(37.5%)」「新聞(35.2%)」が続く。ほとんどのパパは子育ての情報をママから得ている。また2位の友人・同僚を合わせてクチコミ情報が重要な情報収集源となっているようだ。

<調査概要>

2007年6月実施の「あんふぁん」2007年7月号誌面アンケートの回答から、267件を集計

<調査実施> あんふぁん

園児とママの情報誌「あんふぁん」 私立幼稚園に通う園児とママのための情報誌。子育て情報はもちろん、地域密着情報を発信し子育てライフをサポートしています。

(あんふぁんサイト <http://www.enfant.ne.jp/>)

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430

グラフ 子育ての情報収集？ (パパ自身による複数回答) (全体N = 267)

